

ラージヒル 1回目 121.5点 21位も 2回目

ニッポン

# 135点 大ジャンプ

# 葛西

日刊スポーツ NIKKAN SPORTS

2010年(平成22年) 2月 21日

11800

2回出せばよかった  
残念だがよくやった

日の丸飛行隊 6大会連続入賞

# 8位

ラージヒルで8位に入り、ジャンプ台をバックにポーズをとる葛西紀明。切り込み写真はラージヒル決勝2回目で135点をマークした葛西紀明(共同)

## 大貴20位 竹内、栃本は2回目進めず

**ジャンプ** ラージヒル(HS140点、K点125点)を行い、葛西紀明(土屋ホーム)は121.5点、135点の合計256.5点で8位に入賞した。1回目の21位から、2回目の大ジャンプで順位を上げた。日本勢は10092年アルペリル五輪からこの種目で6大会連続の入賞となった。

伊東大貴(雪印)は117点、128.5点で合計245.5点の20位だった。

ノーマルヒルを制したアマン(スイス)が144点、108点の大ジャンプをそろえ、合計252.0点で優勝。ソルトトレックシティー五輪以来、2大会ぶりの個人2冠を達成し、ジャンプの個人種目で最多の通算4個目の金メダルを獲得した。

1回目(100.5点)で37位の竹内(北野建設)、105.5点で45位の栃本(雪印)は30位以内による2回目に進めなかった。

葛西紀明の話 2回目にやっと(いい飛躍が)出た。90パーセントぐらいのジャンプ。条件も1回目より良かった。これを2回出せばよかった。メダルを取れなかったのは残念。でもよくやったと思う。

伊東大貴の話 (2回目は)厳しいと思ったが、逃げて悔いが残るのは絶対に嫌だった。攻める気持ちを持って飛んだ。トリノ五輪のめりもやは取れたけど、新たな課題がどっさりです。

バンクーバー五輪

気になる結果はケータイでもチェック!  
スポーツニュース満載!!

朝日・日刊スポーツ

